

## 講座「生きること」開催記録

| 開催年度 | 講師                             | テーマ  |
|------|--------------------------------|--|
| 1978 | 高史明<br>(作家)                    | 人にやさしい<br>～「生きることの意味」をとおして～                    |
|      | 関広延<br>(高校教師)                  | おのれを見つめる<br>～沖縄にいて視えてくるのは日本ことである～              |
|      | 金時鐘<br>(詩人・高校教師)               | 私と出会った人々                                       |
|      | 三好康子 (止揚学園保母)<br>松井泰子 (止揚学園保母) | 子どものためではなく・ともに<br>～障害児とともに生きて～                 |
|      | 野本三吉<br>(横浜市立寿生活館職員)           | 教育の原型をもとめて<br>～寄せ場の相互教育～                       |
| 1979 | 森滝市郎<br>(被団協理事長・広島大学名誉教授)      | 人類は生きねばならない<br>～私の被爆体験から～                      |
|      | 田島征三<br>(絵本作家)                 | 生命(いのち)と向きあうとき<br>～僕と絵本と現世と～                   |
|      | 大川恵美子<br>(部落解放同盟大阪府連元婦人部長)     | まちがいもいっぱいあるわけやね 金もつたら差別はないんや、おもった～差別のなかを生きぬいて～ |
|      | 丸山友岐子<br>(評論家)                 | 女の自由<br>～我が愛と生の履歴書～                            |
|      | 水上勉<br>(作家)                    | 人間と風土  |
| 1980 | 金賛汀<br>(ルポライター)                | 「壁」とよばれた少年<br>～あるいじめられっ子の自殺～                   |
|      | 小林初枝<br>(高校司書)                 | なぜ差別はなくなるらないか<br>～被差別部落に生まれ育ち、そして差別とたたかって～     |
|      | 真尾悦子<br>(作家)                   | 「ありのままの人生」<br>～貧乏も病氣もいっそそれらと友達つきあいをして～         |
|      | 齋藤茂男<br>(共同通信記者)               | 事実が私を鍛える<br>～現代を取材しながら考えること～                   |
|      | さねとうあきら<br>(児童文学者)             | 子どもが子どもらしさをとりもどす時<br>～わたしの児童文学が目指すもの～          |
| 1981 | 田島征三 (絵本作家)<br>田島征彦 (絵本作家)     | ほくたちの絵の世界<br>～土と生命の交感を描いて～                     |
|      | 阪本ニシ子<br>(部落解放界地区歴史文化を守る会会員)   | みんな手をつないでほしいねん<br>～差別の中を生きぬいて～                 |
|      | 宗秋月<br>(詩人)                    | 我が町猪飼野を語る                                      |
|      | 井上光貞<br>(小説家)                  | 露天市場から小説は始まる                                   |

|      |                                |                                      |
|------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1981 | 山内 徳信<br>(読谷村村長)               | 基地の中における文化村づくり<br>～沖縄・読谷村の自治の戦い～     |
| 1982 | 上江州 トシ<br>(沖縄・生活と権利を守る婦人協議会会長) | いなやぐや平和のさちばい<br>(女)<br>(先がけ)         |
|      | 栗原 貞子<br>(詩人)                  | 核時代に生きる<br>～ヒロシマ体験をとおして、今、私たちは～      |
|      | 朴 壽 南<br>(作家)                  | もうひとつのヒロシマ、もうひとつの日本<br>～朝鮮人被爆者の体験から～ |
|      | 水木しげる<br>(漫画家)                 | 戦争のはなし                               |
|      | 斎藤 次郎<br>(子供調査研究所)             | 地球は、子どもの遊び場                          |
| 1983 | 佐江 衆一<br>(作家)                  | ヒトはやむなく路上に眠る<br>～寿町浮浪者襲撃事件を見すえて～     |
|      | 神田 三亀男<br>(日本農業新聞・広島版編集者)      | 原爆と村の女たち<br>～聞き書きにこめた思い～             |
|      | 松下 竜一<br>(作家)                  | やさしさということ<br>～豊前火電建設阻止の闘いの中で～        |
|      | 徳村 彰<br>(ひまわり文庫主宰)             | 激動の中でこそ子どもは育つ<br>～横浜ひまわり文庫の十一年～      |
|      | 山谷 哲夫<br>(映画監督)                | なぜ、いま「買春」なのか<br>～映画を作る根っこにあるもの～      |
| 1984 | 辛 基 秀<br>(映画プロデューサー)           | 在日朝鮮人、もうひとつの歴史<br>～発掘された真実～          |
|      | 伊藤 ルイ<br>(博多人形彩色職人)            | 反戦の日々を生きる<br>～自然と生への渴仰を胸に～           |
|      | 寺本 知<br>(詩人)                   | 熱と光を求めて<br>～わたくしの出会った人たち～            |
|      | 保坂 展人<br>(学校解放新聞社代表)           | 先生、涙をください<br>～いこうぜ!学校地獄からの脱出～        |
|      | 鎌田 慧<br>(ルポライター)               | 工場と学校の現場から<br>～進む管理強化と人間荒廃～          |
| 1985 | 石元シゲ子<br>(「いのちの底が抜けたア」の著者)     | いのちの底が抜けたア                           |
|      | 藤井 誠二<br>(「オイこら!学校」の編者)        | オイこら! 学校                             |
|      | 西岡 務<br>(全国障害者解放運動連絡会事務局長)     | 障害者としてあたりまえに生きたい!                    |
|      | 山尾 三省<br>(詩人)                  | 人間の故郷性を求めて                           |

|      |   |  |
|------|---|--|
| 1985 | 藪木 禾積 (愚公時習社理事)<br>松田智江子 (元四国外国語大学教師)           | 涙の対面以後の帰国者の生活と思い<br>～戦後四〇年中国と日本のはざままで～ |
| 1986 | 川崎 彰彦<br>(作家)                                   | ものぐさ人生                                 |
|      | 鈴木 みち子<br>(フリージャーナリスト)                          | 校則にみる人の 「生」と「性」                        |
|      | 佐伯 敏子<br>(ヒロシマの語り部)                             | ヒロシマに歳はないんよ                            |
|      | 奥地 圭子<br>(登校拒否親の会代表・元小学校教師)                     | 学校信仰を越えて<br>～今、人間としての学びを～              |
|      | 田中 美津<br>(子どもと女のからた育て「レラハルセ」主宰)                 | 傲慢は美徳の物語<br>～誤解されればなしのウーマンリブ～          |
| 1987 | 金 洪 仙 (前高槻市公立学校における朝鮮人子弟会指導員)<br>鈴木 常勝 (元中国留学生) | アジアをつなぐ家族                              |
|      | 浅野 健一<br>(記者)                                   | 犯罪報道のあり方を問う                            |
|      | 東淵 修<br>(詩人)                                    | カンカン(熱中)人生や                            |
|      | 小栗 康平<br>(映画監督)                                 | 映画をとおして                                |
|      | 前川 む一<br>(「好きです人間展」事務局員)                        | 途切れがちな対話をつなぐために                        |
| 1988 | 中西 清太郎<br>(「廃墟の中から」の著者)                         | 廃墟の中から<br>～わが水本村の闘い～                   |
|      | 金 香都子<br>(大阪市立天王寺中学校夜間学級講師)                     | 猪飼野路地裏通りゃんせ                            |
|      | 五十嵐 照美<br>(日本キリスト教部落解放センター職員)                   | 私と部落解放                                 |
|      | むの たけじ<br>(著述業「たいまつ」新聞主宰)                       | 生きることを問い直す<br>～昭和史への証言～                |
|      | 吉田 ルイ子<br>(フォトジャーナリスト)                          | 見つめられる日本<br>～第3世界と私たち～                 |
| 1989 | 金 満 里<br>(劇団「態変」主宰)                             | 私のおるところから見えてくるもの                       |
|      | 萩原 葉子<br>(作家)                                   | 人生はいつも今のなかに                            |
|      | 大島 静子<br>(女性の家「HELP」前ディレクター)                    | 「アジア出稼ぎ女性」は問いかける<br>～HELPから見た日本～       |
|      | 吉田 小百合<br>(松原教育を守る会)                            | 「更池に生きて」<br>～差別によって奪われた子育てをとり戻す～       |

|      |                              |                                 |
|------|------------------------------|---------------------------------|
| 1989 | 島 成郎<br>(精神科医)               | 心病みながら生きること                     |
| 1990 | 阪本 秀夫<br>(日本教育法学会理事)         | 子どもの権利条約と校則                     |
|      | 新正 卓<br>(写真家)                | 中国残留孤児を撮りつづけて                   |
|      | あんばいこう<br>(「無明舎出版」経営)        | 「地方」の視線                         |
|      | 洪 貞子<br>(宇治ウトロ住人)            | 私とウトロとの出会い<br>～生きていかななくては～      |
|      | 磯本 恒信<br>(長崎大学講師)            | 長崎に生きて<br>～被爆と差別のはざままで～         |
| 1991 | 土本 典昭<br>(記録映画作家)            | 記録映画はひとつひとつの合作である               |
|      | みなみあめん坊<br>(「月夜のムラで星を見た」著者)  | 差別社会を“ムラ”から見れば                  |
|      | 中嶋 昌一郎<br>(「浪花の板前国賊斬」著者)     | はぐれ板前、国賊となる                     |
|      | 岸 キヌエ<br>(部落解放同盟日之出支部婦人部長)   | みやらけの子もり唄<br>～私の生きてきた道～         |
|      | チカップ美恵子<br>(アイヌ文様刺繍家)        | 多民族社会は可能か?                      |
| 1992 | 上田 音市<br>(全国隣保館連絡協議会名誉会長)    | 私の解放運動<br>～その七〇年～               |
|      | 金城 実 (彫刻家)<br>玉城 利則 (沖縄三線奏者) | 復帰二〇年<br>～沖縄を語る～                |
|      | 池田 千鶴子<br>(放浪の吟遊詩人)          | 命を見つめ 命を奏でる                     |
|      | ギリヤーク 尼ヶ崎<br>(大道芸人)          | 街角に踊るじょんがら一代                    |
|      | 坂岡 嘉代子<br>(はぐるまの家代表)         | はぐるま太鼓 輝かそう子供たち<br>～ありのままの大人から～ |
|      | ≪国際先住民族年記念講演≫<br>床 スプリ (彫刻家) | 私の出会った人々                        |
| 1993 | 辻野 ナオミ<br>(ネグロス教育里親運動会長)     | 近所の国から見た日本                      |
|      | 松本 剛<br>(弁護士)                | HIV(エイズ)と共に<br>生きる社会をめざして       |
|      | 武富 富巳男<br>(「兵士・庶民の戦争資料館」主宰)  | “苔むす友を忘れまじ”<br>彼我多くの犠牲の上に今日がある  |

|      |  |                            |
|------|--|----------------------------|
| 1993 | 斎藤 洋一<br>(財信州農村開発史研究所研究員)                  | 部落の歴史をとりもどす闘いのなかで          |
|      | もろさわ ようこ<br>(女性史研究家)                       | 愛にみちて歴史を拓き<br>心華やく自立を生きる   |
| 1994 | 木村 美代志<br>(財大阪府同和事業促進協議会理事)                | 差別の中を生きぬいて                 |
|      | 梁 石 日<br>(作家)                              | 持続する意思                     |
|      | ハツ塚 実<br>(尾道短期大学非常勤講師)                     | 私の「人間科」授業<br>～いのちの灯をかざして～  |
|      | 谷口 明広<br>(障害者自立生活問題研究所所長)                  | 夢を抱き、夢をかなえる<br>～障害と楽しく生きる～ |
|      | 山田 薫<br>(星ヶ丘厚生年金病院医師)                      | 障害者の排尿障害治療にかかわって           |
| 1995 | 吉田 正行<br>(神戸市身体障害者福祉相談員・前神戸市聴覚者協会会長)       | 盲ろう者の声<br>～ボランティアって何だろう～   |
|      | 牧田 清<br>(フォトジャーナリスト)                       | 写真をとおして出会った人々              |
|      | 坂本 信一<br>(ある地方自治体の清掃現場員「ゴミにまみれて」著者)        | ゴミにまみれて                    |
|      | 林 力<br>(九州産業大学経済学部教授)                      | 学ばされ、生かされて                 |
|      | 桑原 忠史<br>(徳島県同和問題啓発専門委員)                   | 自分らしく学ぶということについて           |
| 1996 | 花井 十伍<br>(大阪日ⅤⅤ訴訟原告団理事)                    | HIV「死の恐怖を越えて 普通に生きたい」      |
|      | 鄭 承 博<br>(作家「裸の捕虜」の著者)                     | 私の生きてきた道筋                  |
|      | 池田 栄子<br>(尼崎市社会同和指導員)                      | 寄り道 まわり道<br>共に生きるために       |
|      | 大井 益二<br>(技術コンサルタント)                       | 見えなくても 明日にむかって             |
|      | バルゴ・マイラ (在日フィリピン女性)<br>園崎寿子 (英・タガログ語通訳翻訳家) | フィリピン女性とその子<br>「日本に生きる」    |
| 1997 | バイマーヤンジン<br>(声楽家・チベット出身)                   | 遠くチベットから<br>日本で暮らして        |
|      | 和田 武広<br>(「はじけた家族―手記・結婚差別」の著者)             | 二度とない人生だか                  |
|      | 村上 初一<br>(前大久野島毒ガス資料館館長)                   | 伝えておきたいこと                  |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 1997 | 今野 紀世子<br>(大阪国際平和センター運営委員)<br>(大阪大空襲の体験を語る会代表) | 大阪大空襲の生存者として<br>戦争の恐怖を語る                     |
|      | 金 時 鐘<br>(詩人・エッセイスト)                           | 私の日本語<br>私の「日本」                              |
| 1998 | 梁 容 子<br>(「女のための大工教室」主宰)                       | 木を通して人間を考え<br>人間の営みを通して 美しいものを探す             |
|      | 金 里 博<br>(在日ハンゲル詩人)                            | 私が朝鮮語で詩を書くこと<br>-生きること-                      |
|      | 園田 雅春<br>(高槻市立上牧小学校教諭)                         | 近ごろの子ども事情<br>-育てたい「自尊感情」-                    |
|      | 武田 靖彦<br>(広島県原爆被害者団体協議会所属)                     | 子や孫に緑豊かな<br>平和な世界を残したい                       |
| 1999 | 仲谷 真一<br>(大阪精神障害者連協会「ほろほろクラブ」事務局長)             | 精神病になってよかった<br>-「精神障害者」である私の今までの生活から見えてくるもの- |
|      | 安部 夏丸<br>(小説家)                                 | 雑魚寝ばなし<br>-常識・価値観を考える-                       |
|      | 高橋 卓志<br>(神宮寺住職・アクセス21代表)                      | 生きること死ぬこと                                    |
|      | 乾 千恵<br>(時に「書」も書くエッセイスト)                       | 自分らしく生きたい<br>-ありのままに 夢を持って-                  |
| 2000 | 金 秀 男<br>(関西韓国YMCAアジア青少年センター館長)                | カネモト・ヒデオから<br>キム・スナムへの道のり                    |
|      | 青木 新門<br>(小説家)                                 | いのちに生かされて<br>-だが少年たちは今-                      |
|      | 金城 馨<br>(関西沖繩文庫主宰)                             | 大阪から見た沖繩<br>そして大和                            |
|      | 今里 哲<br>(シャンソン歌手)                              | 私の人生、薔薇ん、バラん                                 |
|      | 東野 健一<br>(ポトゥア／絵巻物師)                           | 遠くて近い国インド<br>そこで出会った事                        |
| 2001 | 中谷 紀美子<br>(夜間中学校教諭)                            | 教える側が育てられ<br>-30余年義務教育にかかわって-                |
|      | 石田 雅男<br>(長島愛生園入園者自治会会長)                       | ハンセン病と私                                      |
|      | 鄭 甲 寿<br>(ワンコリアフェスティバル実行委員長)                   | ワンコリアを目指す私の想い                                |
|      | 記虎 敏和<br>(啓光学園高校教諭・ラグビー部監督)                    | 情熱と愛情<br>-子どもたちの可能性を信じて-                     |
| 2001 | 辻 一<br>(大阪脊髄損傷者協会会長)                           | 人生をサバイバルからアートへ<br>-障害者のトータル・リハビリテーションから-     |

|      |                                       |                                   |
|------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 2001 | 本田 哲郎<br>(釜ヶ崎反失業若者連絡会共同代表・カトリック神父)    | 野宿をしいられた仲間の願いと連帯したい!              |
| 2002 | 今城 千重子<br>(宇口老人保健施設「ラガール」支援相談員・元タレント) | いつでも人生スタートライン<br>好きで歩いたわが半生       |
|      | 金沢 泰裕<br>(J・W・M「弟子教会」牧師)              | 生き方を変えた男!!<br>むかしヤクザ、今牧師          |
|      | 高平 和子<br>(人形劇団「クラルテ」所属・人形劇俳優)         | 人形劇に生きる<br>～出会いが支えてくれたこと～         |
|      | 清水マリアルース<br>(ポランティアグループ「イフィック」代表)     | 異なった文化とともに暮らして                    |
|      | 河野 和永<br>(NPO法人「陽だまりの会」理事長)           | “ありのままに生きる”って難しい……!               |
| 2003 | 藤谷 蓮月<br>(守口市覚了寺 パンク坊主)               | “パンク坊主”宣言<br>～活き活きと生きる・共に生きる～     |
|      | 陳 天 璽<br>(国立民族学博物館助教授)                | 無国籍者”として生きること                     |
|      | 米原 耕治<br>(枚方市障害者卓球倶楽部設立代表他)           | “半身マヒ”でスポーツ指導<br>～くも膜下出血からの奇跡の復帰～ |
|      | 片山 旭星<br>(琵琶奏者)                       | 生き続ける琵琶の調べ                        |
| 2004 | 橋中 初男<br>(コルク昆虫画家)                    | 出来事は我が人生の一ページ                     |
|      | 橋口 高明<br>(社団法人アジア協会アジア友の会常務理事)        | 命と「水」を見続けて                        |
|      | 武 るり子<br>(少年犯罪被害当事者の会代表)              | 少年犯罪で息子を奪われて                      |
|      | 茨木 四郎<br>(元公立学校長)                     | 広島呼び<br>「兵隊さん、ボク、戦争はイヤです」         |
|      | 島津 良子<br>(奈良女子大学・立命館大学講師)             | 婚外子の母として生きる                       |
| 2005 | 松原 一則<br>(作家)                         | 先に死なないで!!<br>-長崎の被爆体験-            |
|      | 李 福美<br>(じんけん楽習塾)                     | 出会いからはじまる共生<br>コリアン系大阪人の立場から      |
|      | 土肥 いつき<br>(セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク)     | ありのままの「わたし」を生きる                   |
|      | 堀尾 貞治<br>(現代美術作家)                     | 現代美術と僕                            |
| 2006 | 牧口 一二<br>(合名会社おぼけ箱代表)                 | 歩かれへんけど 歩いている                     |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 2006 | 有吉 須美人<br>(ブルースピアニスト)                  | ブルースの本場シカゴで、日本人が黒人音楽を続けるということ              |
|      | 館林 千賀子<br>(同志社大学大学院)                   | 人と人が繋がっている社会<br>～介助犬とともに車椅子で生活する中で感じたこと～   |
|      | 田村 雅子<br>(野崎観音＝慈眼寺)                    | ご縁を大切に ありのままに生きる                           |
| 2007 | 具志アンデルソン 飛雄馬<br>(多文化共生NPO世界人理事長)       | 死んだら終わり だから生きるんだ<br>～多文化共生へのかけはし           |
|      | 大城 盛俊<br>(沖縄戦と平和をつたえる会)                | 沖縄戦を生き抜いて<br>命こそ宝(ぬちどつたから)                 |
|      | 森田 隆子<br>(手記「女学生の戦争体験」発行者)             | 女学生の戦争体験記<br>～大阪香里(爆弾)造りをさせられた乙女たち         |
|      | 岡崎 武志<br>(フリーライター)                     | 枚方生まれの我が古本人生                               |
| 2008 | 倉田 智恵<br>(薬物依存症回復施設「タルク」<br>女性ホーム大阪代表) | 死なないこと・心を開くこと・自分を許すこと                      |
|      | 康 玲子<br>(京都市小学校非常勤講師)                  | 私には浅田先生がいた<br>-在日朝鮮人として                    |
|      | 牧田 アヤ子<br>(元市議会議員・枚方初の女性議長)            | 私の60年<br>-交通局から紡績会社 そして議員に                 |
|      | 笹尾 達朗<br>(NPO法人あったかサポート常務理事)           | 非正規労働の時代に生きる                               |
| 2009 | 井上 幹一<br>(NPO法人スペシャルオリンピックス日本・大阪理事)    | みんないっしょ 共に暮らすって…!<br>～スペシャルオリンピックスの活動を通して～ |
|      | アゴラ ナタニエル オルウチ<br>(立命館大学経営学部国際経営学科講師)  | アフリカ諸国の紛争と人権について                           |
|      | 重岡 恵子<br>(グループホーム「マナ」管理者)              | 出会い、ふれ合い、学び愛<br>～グループホームでの暮らし生きいき～         |
|      | 堀江 ひとみ<br>(暴力団被害者の会会長)                 | 勇気をもって闘い続ける                                |
| 2010 | 米村 幸純<br>(TAV交通死被害者の会会員)               | 僕のほうが青やったのに!!                              |
|      | 阿部 和子<br>(音楽教育家・合唱指揮者)                 | 生きるのってすばらしい                                |
|      | 木野 秀夫<br>(元シベリア抑留者)                    | 凍土に眠る幾星霜                                   |
|      | 渡井 さゆり<br>(NPO法人社会的養護の当事者参加推進団体育理事長)   | 生かされてしまった命にしないように                          |
| 2011 | 木村 鐘夫<br>(枚方市原爆被害者の会会長)                | 被爆者を生きる                                    |



|      |                                      |   |
|------|--------------------------------------|---|
| 2011 | 鶴島 緋沙子<br>(作家、枚方市自閉症児(者)親の会代表)       | トミーのいる街                                   |
|      | う～み<br>(シンガーソングライター)                 | 命の繋がり<br>～歌が世界を広げてくれた～                    |
| 2012 | 平山 眞<br>(大阪里親連合会中央支部ひまわり会会長)         | 里親として子供たちと歩んだ30年                          |
|      | 平山 幸子<br>(大阪里親連合会中央支部ひまわり会相談役)       |   |
|      | 新川 初子<br>(ひめゆり同窓会大阪支部長)              | ひめゆり学徒の沖縄戦<br>～命(ぬち)どう宝～                  |
|      | 杉本 郁夫<br>(有限会社ライズ企画代表・移住経験者の会ラポール代表) | 命をつなぐ贈り物<br>～自分しにしかできないこと～                |
| 2013 | 小林 茂<br>(ドキュメンタリー映画監督)               | ほくたちは生きているのだ<br>～私のドキュメンタリー人生～            |
|      | 天野 和彦<br>(福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任准教授) | 生きている 生きていく<br>～Jack天野が福島被災地とともに歩む理由(わけ)～ |
|      | 茂 幸雄<br>(NPO法人心に響く文庫・編集局理事長)         | 命の灯台守<br>～東尋坊の“ちょっと待ておじさん”～               |
| 2014 | 安野 ゆうみ・安野 団<br>(紙芝居師)                | 紙芝居師の父の遺志を追う<br>～紙芝居が魅せる世界と吸引力～           |
|      | 仲間 恵子<br>(大阪人権博物館学芸員)                | 大阪のなかの沖縄                                  |
|      | 高宮 敏光<br>(枚方市立杉中学校保健体育教諭)            | 夢に向かって<br>～剣道を通して学んだこと～                   |
| 2015 | 佐野 章二<br>(有限会社ビッグイシュー日本共同代表)         | ホームレスはビジネスパートナー<br>～ビッグイシューの試みから～         |
|      | 金光敏<br>(NPO法人コリアNGOセンター事務局長)         | 民族学級と出会えて<br>～外国人の子どもたちから見える多文化共生の街づくり～   |
|      | 上西 祐介<br>(有限会社はなまる デイサービス統括)         | 生きる力を、人から人へ<br>～「福祉」という仕事を通じて学び得たこと～      |
|      | 神原 謙一                                | 全国24,681局の郵便局窓口で<br>貯金を達成                 |
| 2015 | 道志 真弓<br>(元フリーアナウンサー)                | 家族の絆<br>～生まれてきてくれてありがとう～                  |
|      | 米田 千鶴<br>(主婦・チーム祐二実行委員会代表)           | 野生児がカメラマンと呼ばれるまで                          |
|      | 今西 美奈子                               | 戦後70年、今振り返る戦争と<br>障害児たちの日々                |
|      | 坂本 尚志<br>(元秋田県動物管理センター所長・さかもと動物病院院長) | 大切なあなたへ 伝えたいこと                            |

|      |                                      |  |
|------|--------------------------------------|--|
| 2016 | 中川 るみ<br>(大阪地方検察庁再犯防止対策室 社会福祉アドバイザー) | 相談を通して出会った、素敵な方たち<br>～悩む力強さに、励まされて～              |
|      | 西澤 真樹子<br>(なにわホネホネ団 団長)              | 動物が生きた証を未来に残す<br>～なにわホネホネ団の13年から～                |
|      | 外山 努<br>(枚方市老人介護者家族の会理事)             | 僕の妻は認知症<br>～夫婦の絆～                                |
|      | 柳岡 克子<br>(車いすの元気配達人)                 | 生きている喜び<br>～チャレンジは果てしなく～                         |
| 2017 | 林家 染太<br>(落語家)                       | 笑う門には福来たる<br>～いじめられっ子のぼくが落語家になったわけ～              |
|      | 杉野 文篤、杉野 由美子<br>(認知症の人と家族の会会員)       | 認知症と共に生きる<br>～認知症当事者(本人・家族)からの発信～                |
|      | 倉田 めば<br>(大阪タルク ディレクター)              | Help!<br>～薬物依存者というスティグマを越えて～                     |
| 2018 | 中尾 勇守<br>(LGBT 講演会講師)                | セクシュアルマイノリティーを生きる<br>～性同一性障害を乗り越えて～              |
|      | 新居 真理<br>(ハクバの会～人工呼吸器とともに生きる～関西支部幹事) | 人工呼吸器があってもみんなと一緒に!<br>～支援者と地域で暮らす～               |
|      | 児島 一平<br>(NPO みんなの未来かいたく 団代表理事)      | ひきこもりだった。でも、だからこそ<br>感じられたことやできたことがあった。          |
|      | 黄 光男<br>(ハンセン病家族訴訟原告団副団長)            | 閉じ込められた命<br>～私の母はハンセン病でした～                       |
| 2019 | 菅本 香菜<br>(株 CAMPFIRE FOOD・LOCAL 担当)  | 食べることは、生きること～拒食症だった<br>私が、旅するおむすび屋を始めた理由～        |
|      | 武田 秀司<br>(福島市立平野中学校教諭)               | 福島の子もたちと教育現場の今<br>～差別や偏見から負けない強い心を育てるために         |
|      | 井上 鈴佳<br>(レズビアン 保健室の先生)              | あなたの身近にもいるLGBT<br>～男女やLGBTだけじゃない性のあり方は十人十色       |
|      | 広野 ゆい<br>(NPO法人DDAC(発達障害をもつ大人の会)代表)  | 発達障害と生きる<br>～当事者からのメッセージ                         |
| 2020 | 永野 三智<br>(一般財団法人水俣病センター 相恩社常務理事)     | 水俣をとおして社会とつながる                                   |
|      | 谷岡 哲次<br>(認定NPO法人レフト症候群支援機構 代表理事)    | 娘が不治の難病と診断されました。<br>～「レット症候群」をご存じですか             |
|      | 大矢 和枝<br>(東大阪市在住)                    | 米軍人の父とウチナンチュの母の子として生まれて<br>～人との出会いの中で沖縄と向き合えるように |
|      | 金 秀煥<br>(南山城同胞生活相談センター代表)            | 在日3世としてウトロに関わって<br>～そこから見えた人権と日本社会               |
|      | 牧 秀一<br>(NPO法人阪神淡路大震災よろず相談室 前理事長)    | 人は人によって救われる<br>～25年間の震災ボランティア活動から                |

|      |   |   |
|------|---|---|
| 2021 | 常石 勝義<br>(元JRA(日本中央競馬会)騎手)  | もう一度、大好きな馬と夢を掴みたい<br>～高次脳機能障害を乗り越えて～            |
|      | 牛島 貞満<br>(元東京都公立小学校教員)  | 牛島満と沖縄戦 ～国内での最大で最後の地上戦から学ぶこと～                   |
|      | 玉井 浩<br>(大阪医科大学小児高次脳機能研究所長)   | 命の選別への警鐘<br>～出生前遺伝学的検査と胎児の人権～                   |
|      | 柳谷 和美<br>(おやこひろば桜梅桃李代表)   | トラウマとともに、自分らしい生き方を見つけるまで<br>～サバイバーが語る性暴力・DV・虐待～ |
| 2022 | 坪倉 優介<br>(ゆうすけ工房 草木染作家)   | 記憶を失うとどうなるのか？<br>～交通事故にあい脳の中まで出血する～             |
|      | 白石 由美<br>(市立ひらかた病院副院長兼看護部長兼医療相談・連携顧問)   | 新型コロナウイルス禍の中で<br>「生きること」を考える                    |
|      | 清田 悠代<br>(NPO法人しふたね理事長)   | 重い病気のある「きょうだい」がいるということ<br>～自身の体験と、きょうだい支援の活動から～ |
|      | 安野 輝子<br>(大阪空襲訴訟を伝える会)  | 生えてこなかった足<br>～空襲体験記とその後のこと～                     |
| 2023 | 渡邊 洋次郎<br>(依存症回復施設職員・生活支援員・介護福祉士)   | 生き直し～人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは自分の中に息づく愛を知った時～     |
|      | 語り部K O B E1995<br>田村勝太郎 (語り部 K O B E1995 前代表)<br>崔秀英 (語り部メンバー崔敏夫の三男)<br>和氣光代 (元中学校教諭) | 阪神・淡路大震災から得た教訓<br>～支え合うこと～                      |
|      | チャン・ティ・ヒエン<br>(通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人)  | ベトナム語の通訳を続けて25年<br>～日本とベトナムの間で～                 |
|      |   |   |